



理事長より

桜も満開になり、春の訪れを実感できる時期になりました。冬の間はなかなか外出できなかった患者さん方も桜を見にお出かけされる人が増えておりまして、先日不思議な光景を目にしました。町の繁華街を電動車いすで二人乗りしている姿でした。若い下肢障害を持つ男性の方が運転する電動車いすに、健常な若い男性を後ろに立ち乗りさせて、結構なスピードで走っていく姿でした。車椅子といえはまだまだ人に押しってもらうものというイメージが強いので、車椅子での外出に抵抗感がぬぐえない障害者も多いといえます。実際私の友人が足を骨折した折、どうしても外出しなければならなかったので、車椅子に乗って外出したところ、周囲の人は自分に話しかけずに、車椅子を押している人にばかり話しかけることに気がついたといえます。

周囲の人は決して悪気は無いのですが、自分に直接話しかけて欲しいと少し悔しい思いをしたそうです。

介護されることはありがたい。だが、介護自体が自尊心を傷つける側面があるということです。移動の主体性がひいては人格的主体性につながると思うからです。

しかし今回の場合は障害者の方が、若い男の子を乗せて、早足歩きぐらいのスピードで町を闊歩していたのでした。「近未来的だなあ。」「こんな光景がもっとしばしば見られるようになるこそ、本当に社会のバリアフリーが進んだときなのかもしれないなあ。」と憧憬のまなざしで、後姿を必死で目で追っていた私を取り残し、桜の道に彼らは消えていったのです。

はなぶさひろお
理事長 英 裕雄

銀座ヒロクリニック院長より

暖冬の今年は春の訪れも早く、喜ばしい限りと言いたいところですが、花粉症の私にとっては辛い時期で、内服薬で症状を抑えつつ、副作用による眠気と戦っております。

花粉症はアレルギー疾患の一種ですが、アレルギーとは外敵に対する自己免疫細胞の過剰防衛反応で、アナフィラキシーショックなど生命に危険を及ぼすものもあります。

『過ぎたるは尚及ばざるが如し・・・』

過剰な医療行為は体を傷つけるのみでなく、その人の生活、人生までも大きく変えてしまいます。病気を治療することだけが医療ではなく、病気とうまく付き合いながらその人らしい人生を全うできるように支えるのも医療です。

生活に合わせた医療を提供できるのも訪問診療ならではのことで、より良い人生のために本当に必要なものをみなさまと一緒に考えていきたいと思っております。

銀座ヒロクリニック 院長 しいい とおる 椎井 徹



在宅の現場にて



きれいな^{さくら}桃色の花びらが舞い、若葉の候となってまいりました。ぼかぼか陽気で、うたた寝で心地よい時を過ごされる方もいらっしゃるでしょうか。駅や街で真新しいランドセルを背負ってちょっぴり誇らしげな新一年生をみかけて新しい季節を感じている日々です。と、早くもわき道にそれてしまいました…さて、それでは早速。



Bさんは肺に癌を患っておられます。肺に腫瘍があるとわかってから9年。これまでに抗がん剤の治療や胸にたまった水を抜いたりといろいろと治療も重ねてこられています。いまは頑固な咳がつづくことが心配なところでしょうか。

それにしても、本当に驚いているのですが、Bさんの周りにはいろいろとお手伝いをしていただける方がたくさんいらっしゃるのです。咳がつづくので坂の上り下りがなかなか大変なBさんのためにお買い物をしてくださる方やお料理を届けてくださる方、「元気？」と顔をのぞかせてくださる方もいらっしゃるようです。

自宅で大好きな御両親にお食事をお供えされたり、お花の水をかえられたり、訪問するたび、いつも御両親のことを気にかけておられます。

次にお会いするときにはどんなお話を聞かせていただけるでしょうか。

Bさんと初めてお会いしたのは、2月の最高気温が10度にも満たない日でした。自宅への退院にあたり、入院中の病院へ退院前のカンファレンス（御本人・御家族と医療関係者らが集まっての話し合い）のため訪問したときです。御本人も交えて、病院のスタッフと在宅のスタッフとで病状の経過などをはなしているとき、Bさんが『父・母の待つ自宅に戻りたいんです。

“帰る”^{わがや}場所は自宅しかありませんから。』と自宅での療養を希望される理由を教えてくださいました。

病院を退院された日、自宅に訪問した際に御両親の写真の前に本当に楽しそうに一大好きなパパ・ママのことを話す子どもみたいに目を輝かせて一、いろいろな^{じまん}思い出話を聞かせていただきました。シェフをされていたお父様の作ってくれた料理のこと、そんなお父様を陰ながら、それでいてしっかりと支えていたお母様のこと。まず退院されて、Bさんの体調はどう？、自宅に帰ってみてさっそく困ったことは無い？と心配をしていましたが杞憂に終わりました。



医師 ^{たにかわ} 谷川 ^{ふとし} 太志

リハビリだより

春です！

皆様いかがお過ごしですか？

暑さ寒さも彼岸まで...と申しますが、今年はお彼岸を過ぎてから寒の戻りがあったり...

バイクで外を走り回る私達にとって辛かった冬が去り、待望の季節が巡ってきました。

この時期は、桜をはじめハクレンにチューリップにたんぽぽにと、日々色彩豊かになっていく自然を楽しめるので、大好きな季節です。個人的には花粉症に泣かされる時期でもあるのですが...

患者様のお宅をまわりながら、青空の下で春の息吹を目一杯吸い込むと、木々や草花たちからエネルギーを分けてもらえるような気がします。

私達も、リハビリを通じて皆様に春の息吹と元気をお届け出来たら...と思っています。

写真は、我が家の家庭菜園に咲いている菜の花です。冬場には“水菜”として食卓に登場しておりました...



おおつじ ともえ
理学療法士 大辻 友枝



MSWコラム

いよいよ平成21年度がスタートしました！

寒い冬がようやく終わり、やっと春らしくなってきました。4月に入ってから、リクルートスーツに身を包んだ新入社員、新しい制服を着た学生を街中でよく目にするようになりました。毎年、この時期が来ると、自分の若かりし遠い昔を思い出し懐かしい気持ちになります。そして、何年経ってもこの季節は、何故か新しい気持ちにさせてくれます。また、この時期はなんととっても「お花見」です。私は、残念ながら、都内でお花見をしたことはないのですが、お勧めなお花見スポットを御存知でしたら是非教えてください。実家の長野県では、なんととっても長野県天然記念物「小彼岸桜」(コヒガンザクラ)が約1500本植えられているという高遠城址公園がおすすめです。中には樹齢100年を超えるものもあり、可憐さと規模の大きさから「天下第一の桜」と称されています。高遠饅頭(‘亀まん’が絶対おすすめです)や地ビール等も美味しいので是非足をのばしてみたいかがでしよう。さて、平成21年度がスタートしました。平成20年度は、7月に銀座ヒロクリニックが開設し、当院にとって大変大きな飛躍の年だったと思います。おかげさまで、銀座ヒロクリニックも徐々に新規患者様の依頼件数が増加してまいりました。

新宿・銀座両クリニック併せて、昨年度の新規患者様相談件数は約600件、その内約450件訪問させていただき、年々増加しております(訪問件数前年度比40%増)。この場をお借りして、ご紹介いただいております皆様に深く感謝申し上げます。今年度も、患者様・ご家族が安心して御自宅での療養生活を送っていただけるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



相談窓口MSW 唐木 香子 03-5909-1220

その他

・事務連絡

既にご存知の方も多いと思いますが、2009年4月1日より介護保険報酬（サービス料金）の改訂がありました。負担の大きな業務や介護従事者の専門性などに着目した評価を加えることにより、介護従事者の処遇を改善することが目的とされています。訪問リハビリに関しても、サービス提供時間に応じた請求方法に変更となっています。ケアマネージャーさんが作成された、「サービス提供表」を再度ご確認ください。なお、ご不明な点がございましたら、お伺いしておりますリハビリ担当者にお問い合わせください。

・イベントのご案内 ゆったり温泉満喫ツアー2日間の旅

昨年のバスツアーが大変ご好評を頂き第2弾温泉ツアーを企画しました。

※リフト付バスなので車椅子ご利用の方も安心してご参加いただけます。

◆行き先：河口湖・箱根周遊（猿まわし劇場見学や箱根彫刻の森美術館鑑賞など見どころいっぱいです！）

◆旅行日：2009年6月2日(火)～3日(水)

詳しい内容については、クリニック事務：飯島までお問い合わせください。



アクセス紹介

医療法人社団 三育会

新宿ヒロクリニック

〒160-0023

東京都新宿区西新宿3-3-11

杉本ビル3F

TEL:03-5909-1220(在宅・在宅医療相談室)

TEL:03-5909-1231(外来)

FAX:03-5909-1233

医療法人社団 三育会

銀座ヒロクリニック

〒104-0045

東京都中央区築地2-7-12

山京ビル3F 308

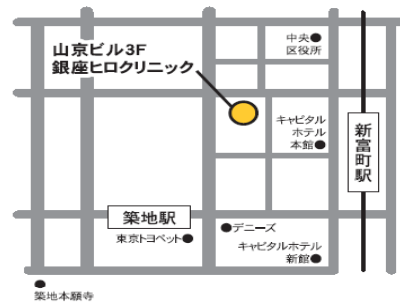
TEL:03-5551-1220

FAX:03-5551-1221



■ JR線「新宿駅」南口……………徒歩7分

■ 地下鉄大江戸線「都庁前駅」……………徒歩5分

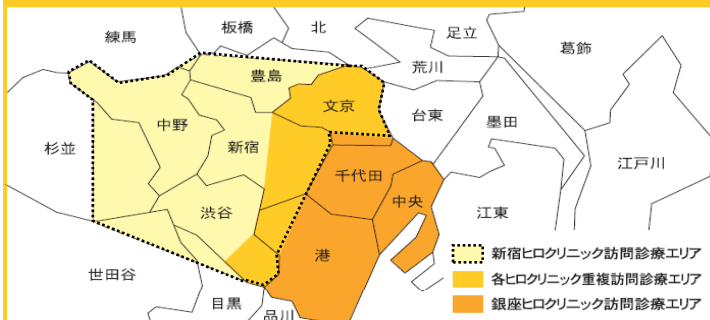


■ 地下鉄有楽町線「新富町駅」……………徒歩2分

■ 地下鉄日比谷線「築地駅」……………徒歩2分

訪問エリア

訪問診療のエリア



その他の地域についてもご相談ください。
対応可能な場合があります。

編集後記

新年度を迎えヒロクリニックのスタッフも新しいメンバーが加入し、新しい体制で4月がスタートしました。ちょっと見慣れない顔のスタッフが皆様のお宅にお伺いするかもしれませんが、その時はどうぞよろしくお願い致します。

次回(夏号)は7月にみなさまのお手元にお届けの予定です。

ご意見・ご感想などありましたらお気軽にお寄せください。

春号 vol.003 2009年4月発行
発行/医療法人社団 三育会
〒160-0023 新宿区西新宿3-3-11
編集責任者/芝

